

花火・火遊びによる火災に注意しましょう

夏の風物詩「花火」。いよいよ子どもたちにとって楽しみな季節となりました。しかし、気軽に楽しめる花火も、取り扱いを誤ると火事や火傷などの事故につながりかねません。

子どもの火遊びによる火災は、大人がいない時に発生することが多く、そのため火災の発見が遅れ火災が拡大する要因にもなります。



■花火を安全に遊ぶポイント

①風の強いときは花火をしない②燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ③子どもだけでなく

大人と一緒に遊ぶ④説明書をよく読み、注意事項を必ず守る⑤水バケツを用意し、使った花火は必ず水につける

■子どもの火遊びによる火災防止のポイント

①子どもだけを残して外出しない②ライターやマッチを子どもの手の届くところに置かない③子どもだけで火を取り扱わせない④火遊びをしているのを見かけたら注意する⑤火災の恐ろしさ・火の取り扱いについて教育する。

事故が起こらないように十分注意し、楽しい夏の思い出にしましょう。

●詳細 芦別消防署保安係 ☎22-3106

★市長だより★

70



去る5月15日から6月12日にかけて、コロナ禍もあつて3年ぶりとなるまちづくり懇談会を、市内10か所の会場で開催いたしました。

市側からは、老朽化が進む市総合庁舎の建替や芦別浄水場の更新のほか、地域の移動手段確保に向けた地域公共交通計画やコンパクトなまちづくりを目指す都市計画マスタープラン及び国道452号の整備促進に向けた国等への要望用プロモーションビデオの紹介など、当面する課題や取り組みについて説明を

させていただき、参加いただいた方からは、主に、市庁舎や浄水場の施設建設に係る財源問題や水道料金の市民負担などについての質問や意見等が寄せられました。

これらの事業を進めるにあたっては、今後も適宜機会を捉え、説明会等の開催を通じ、丁寧な対応に努めてまいります。

4年ぶりとなる「星の降る里、芦別健夏まつり」の通常開催が、

6月8日に開かれた市及び関係10団体で構成する同まつり実行委員会の総会で、メイン行事の健夏山笠「追い山」は7月15日に、千人踊りは16日に行うことなどを協議、決定しました。

芦別の一大行事・夏の風物詩として、市民の皆様や本市を訪れる方々がまつりを楽しまれ、まつりを通じて健やかに夏を送っていただくため、関係者皆様のご協力のもと、盛会を期し、取り組んでまいります。

今から50年前の昭和48年に、当時の芦別市長・細谷徹之助様によって旭ヶ丘公園内に埋設さ



6月9日、50年前に旭ヶ丘公園内に埋設されたタイムカプセルの発掘作業に立ち合わせていただきました。

れたタイムカプセル(時筒)の発掘が6月9日に行われ、現地での立会をさせていただきます。

ほぼ原形を保ったまま無事に発掘されたタイムカプセルには、当時の行政、文化、市民生活に関する資料等が収納されており、8月11日に星の降る里・百年記念館で開催予定の「開封セレモニー」で市民の皆様や関係者の皆様にお披露目させていただきます。

7月25日には、芦別130周年・市制施行70周年の記念事業の一環として、「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」の公開放送(午前6時30分)が、なまこ山総合運動公園で開催されますので、多くの皆様のご参加により、全国のラジオ体操愛好者の皆さんに、芦別の元気や活力を発信できればと思います。

本格的な夏を迎え、市民皆様には、熱中症等暑さ対策にご留意いただき、ご健勝にてお過ごしください。(6月21日記)

芦別市長 萩原 貢